

肥前名護屋城

— 史跡指定100周年 —

特別史跡「名護屋城跡並陣跡」

天下人・豊臣秀吉が1592年に築いた「肥前名護屋城」。広さは17haにも及び、全国の国指定史跡1,923件のうち、わずか66件(※)しかない特別史跡のひとつです(※R8.6.1現在)。

豊臣秀吉の号令の下、徳川家康、前田利家、伊達政宗、石田三成をはじめ160を超える名立たる武将・大名が全国から集結。名護屋城から半径3km圏内に陣を構えた結果、人口約20万人という当時では世界最大級の都市となり、日本の実質的な首都機能を備えていました。

文禄・慶長の役(1592~98年)における大陸出兵の拠点として知られるとともに、大名たちの間では城内や陣屋等で茶の湯や能を介した文化交流が盛んに行われ、秀吉自身も茶の湯や能に没頭するなど、桃山文化が花開きました。名護屋城は日本文化発展の礎となった「はじまり」の場所でもあります。



豊臣秀吉の拠点として築かれた城で、城郭の全体像や石垣の技術的特徴を在りし日の迫力のままに現地を見て、触れることができるのは、唯一名護屋城だけです。あわせて、当時の名護屋城の様相を描いた「肥前名護屋城図屏風」(佐賀県重要文化財)も伝えられ、屏風の描写と現存する遺構、発掘調査の成果等を突き合わせ、城の全容をひも解くことができることから、「近世城郭遺構の至宝」とされています。

名護屋城の石垣は、自然石や割り石を用いた野面積みが見られる総石垣の城跡で、10mを超える高石垣には、当時の技術の粋を見ることができます。名護屋城で用いられた割り石や石積み技術は、全国から参陣した諸大名で共有され、築城技術に大きな影響を与えました。構築された年代が明確であるため、日本の石垣技術の発展過程を知るうえでも貴重な資料となっています。



黄金の茶室

秀吉の権力を象徴する豪華絢爛な茶室。名護屋城博物館が史料に基づき復元し、展示中。2026年、さらにプレミアムな体験プログラムをリリース予定。

名護屋に集った
160を超える武将・大名

前田利家陣跡



昨年、名護屋城跡近くの前田利家陣跡で、周辺陣跡の中で最大規模の巨大な堀とみられる遺構や、おもてなし空間への導入部であった枅形土橋を発見。格式・威厳を備えた陣であったことが明らかになり、全国的に注目されました。専門家からは、「陣というより、まるで城」と評され、50年に1度とも言える特筆すべき発見と捉えています。

佐賀県立 **名護屋城博物館**
Saga Prefectural Nagoyama Castle Museum

入館料 無料 ※特別企画展は有料

■開館時間/9時~17時

名護屋城博物館



公式HP/



写真:水田秀樹